

# 授業改善推進プラン

# 第5学年

東大和市立第七小学校

学習規律等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習を確実にやる。(学年×10分)</li> <li>・学習用具の準備をしっかりと行い、授業への切り替えをする。</li> <li>・最後まで話をしっかりと聞き、学習活動に取り組む。</li> </ul>		
	今年度の課題 (育てたい資質・能力)	具体的な授業改善 (主体的・対話的で深い学びの視点を中心に)	評価
国語	○知識及び技能 語彙力に乏しい傾向があり、学習した漢字や語彙を文章の中で十分に活用することに苦手意識がある。語彙力を広げ、自己の考えをもち、読解力等を身に付ける。	・自己の考えをもつ時間を十分に設け、互いの考えを交流し合う活動を取り入れ、自己の考えに自信をもったり、自分の考えを広げたりする機会を増やす。授業内の小テストや言葉調べ等で、漢字や言葉に関する問題に取り組んだり、読書に時間を確保したりする。	・
算数	○思考力・判断力・表現力等 目的に応じた解決方法の選択に苦手意識がある。目的に合った解決方法を用いて、数の性質や計算の仕方などを考察し、問題解決を図る。	・計算ドリルやデジタルドリル等に繰り返し取り組み、既習事項の習熟度を高める。 ・本時に関連する既習事項を導入段階でおさらいし、問題解決の手段の幅を広げたり、考えを全体で論議し、よりよい解決方法を見出したりできるようにする。	・
社会	○思考力・判断力・表現力等 資料を読み取り、自分の考えをまとめることに苦手意識がある。社会的事象に感心をもち、資料に関連付けて比較するなど、社会に参画する力を身に付ける。	・比較したり関連付けたりして考えたことをまとめ、互いに考えを交流する場面を増やす。その上で、全体で話し合い、その理由や背景を推論するとともに、自己の生活とも関連付け、社会的事象に感心をもつ場面を設ける。	・
理科	○思考力・判断力・表現力等 実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述することに課題がある。実験や観察の記録をまとめ、その結果から考察を見出せるようにする。	・実験結果を表などに整理し、結果から考えられることを整理してまとめる授業展開をしていく。	・
家庭	○知識及び技能 家庭生活における自己の役割を果たす場面が少ない現状がある。裁縫や調理などの基本的な技能、及び、健康的な家庭生活を営むための知識を身に付ける。	・裁縫や調理の基本的な技能が習得できるように実習を設定する。 ・学んだことを家庭で実践する機会を設け、家庭とも連携して生活に活かせるようにする。	・
体育	○知識及び技能 個々の体力や技能に差があり、どの領域でもその差が大きい現状がある。運動の特性に応じた基本的な技能を身に付ける。	・課題を明確にしたり、場の設定の工夫をしたりして、段階的に技能が身に付けられるようにする。	・